

令和6年度

信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会

長野西高等学校ユネスコスクール委員会への質問・感想

(生徒のみなさんへ)

- ・ 竹から紙バッグを作りレジ袋を廃止するという実践をなしとげ高校生らしい行動力を発揮していました。自分だけでなく校内や地域に広めているのは素晴らしいです。
- ・ 様々な社会の中の問題を見つけ、どのようにその問題を解決できそうかを学校だけでなく地域・企業と広げて協力していく姿がとても素晴らしいと思いました。
- ・ 発表ありがとうございます。SDGsの課題に対して、エコバッグの制作やフリーマーケットの開催、フェアトレードの推進など、具体的な行動を通じて解決策を考えている点がとても素晴らしいと思いました。日常生活の中で実践できる取り組みを多くの人に伝え、参加しやすく工夫していることで、SDGsの意識が広がっていくと感じました。放置竹林の問題では、竹紙バックの制作や活用方法を考えるなど、地域の環境問題にも取り組んでいることが印象的でした。環境問題は規模が大きく、解決が難しいと感じることもありますが、こうした身近な行動から変化を生み出せることを改めて考えさせられました。身の回りの放置竹林から出た竹材の有効活用方法や、放置竹林の管理方法について、何かアイデアはありますか？その答えはきっと、持続可能な社会にも結びついています。世界規模の課題と地域の課題を結びつけながら、自分たちができることを考え、行動に移している姿勢がとても素敵でした。今後もこうした活動を続けていってください！
- ・ SDGsについてエコバックを作ったり、SDGs展としてみんなに伝えたり、フリーマーケットを行ったりとても幅広い活動を行っていて、よりいろんな人が活動に関わりやすくなっていると思った。生徒にとって日常生活に近い活動を行うことで、親しみやすく、みんなに活動が広がりやすくなっており、いいと思った。
- ・ 放置竹林問題を解決するための取組や、フェアトレードを推進する取り組みなど、様々な活動が行われておりとても良かった。また、フリーマーケットを開いたり、衣服の再利用を促すなど、周りを巻き込んだ活動を行っているの、少しずつ皆の意識も変わってくるのではないかと感じました。
- ・ 放置竹という現実的な環境問題から社会で活かすためにはどのように働きかければよいのか考え、SDGsも意識しながら多くの人に活動の意義を伝えることができたのではないかと思います。日常生活にもSDGsの物がたくさんあり、新たに気づかされたことがたくさんありました。今後もこのような活動が増え、問題解決につながっていけばよいなと思いました。放置竹は県内にどのくらいの面積存在するのでしょうか。また、その面積は全国で何位でしょうか。もし調べていてわかればお聞きしたいです。

〔長野西高等学校ユネスコスクール委員会からの回答〕

質問いただいた2つのことについて調べてみましたが、わかりませんでした。

次の情報を参考にさせていただきたいです。

2022年の長野県内の竹林面積は1449haで、その多くが放置竹林であると考えられます。

また、日本国内での放置竹林は西日本に多く、全国的にみると長野県内の放置竹林面積は大きくはないと推測できます。

- ・ 児童労働や、放置竹林、竹林が広がると根が浅いため災害が起こりやすくなってしま、衣服が足りない人がいるなどのSDGsに関わる問題を解決するために、フェアトレードチョコレートの販売、竹紙バックの制作、衣服を文化祭などで集める活動など、実際に問題を解決するための自分たちなりの行動をされたようで、とても良いことであり、自分ごととして考えることはとても大切なことだなと感じました。これからも活動がんばってください！
- ・ 服という身近なものから、SDGsの達成のために行動を変えるきっかけをつくることができているように思いました。
- ・ 発表ありがとうございます。

文化祭など学校外に魅力を広められる機会を活用し、SDGsを推進するために様々な活動がされていた中で、使わなくなった服の再利用が印象的でした。来年以降の具体的な活動例があったら、今年度の活動の省察を踏まえて知りたいと思いました。

〔長野西高等学校ユネスコスクール委員会からの回答〕

来年度の具体的な活動については、まだ決定していません。現在、服のカプロジェクトを

来年度も継続しておこなうか検討中です。

- ・ バレンタインでの企画、レジ袋の撤廃など、現実でできることを企画し、行うというのがすごいと思いました。環境問題を解決したりするとき、現実的に不可能なことを考えがちになってしまう（学生では財力的に不可能）が、どちらも頑張れば実現可能なことを成し遂げていました。その発想力や問題解決能力はどのように培ったのでしょうか？また、どのようなプロセスでその企画を立案したのか知りたいと思いました。

〔長野西高等学校ユネスコスクール委員会からの回答〕

今回発表したものは、過去の先輩方が発案し、毎年おこなってきたものであり、私たちが一から考えたものではありません。しかし、自分たちにできることは何か、もっとよりよい企画にするためにはどうすればよいかを相談し合い、今年度はこのような形でおこないました。

- ・ 世界から地域の問題を解決するために頑張ってきたことが伝わってきました。
- ・ 土砂災害の原因となる放置竹林に目を向けてオリジナル竹袋をつくり、レジ袋の完全撤廃をするなど、世界や地域の問題に対してやる気を持って活動に取り組んでいる様子が伝わってきました。
- ・ 活動の内容がとてもすごいと思った。コンビニで働いている中、レジ袋が有料化されても気にせず買っていく人が多いと感じているため、若い世代がどんどん家族や親戚、知り合いなど今回の活動内容などを発信していけばより環境問題が少しずつ解決に進んでいくのではないのかと思った。
- ・ GUやユニクロなどの企業の方々と関わりながら活動を行ったり、文化祭でのマーケットを通して全校で理解を深めようとした姿が素敵だと思いました。フェアトレードや服といった身近なことから、SDGsの達成に向けて行動を変えるきっかけをつくることができているように思います。これからも頑張ってください。
- ・ 生徒がSDGsに注目し、社会課題に取り組んだ。フェアトレードのチョコレート販売や竹から作った紙袋の使用、着なくなった衣服の回収といった活動は、環境保護や貧困支援に貢献するものであり、SDGsの理念を具体的に体現している。また、これらの活動を通じて、身近な行動が社会や環境に与える影響について深く考える機会となった。特に、「身近なことから行動を変えることが重要だ」というメッセージは、個人の意識改革が大きな変化を生むことを教えている。これにより、生徒たちはSDGsに対する意識を高め、持続可能な社会の実現に向けて自分たちの力をどのように活用できるかを学ぶことができた。
- ・ 長野西高等学校ユネスコスクール委員会のみならず、素敵な発表をありがとうございました。自分の身近な場所だけではなく、遠く離れた世界の問題を取り上げ、広い世界の中で自分にできることを追求している姿がとても印象的でした。どうしても他人事になってしまいがちな世界の問題だけれど、広い世界の中で私たちはどこかで必ず繋がっている、そう感じました。自分たちにできることを探し、実際にフェアトレードチョコレートの販売など活動に取り組む姿や、外部機関と連携して世界と繋がっていかうとする姿がすごくまぶしくて、私はこれまでできていなかったなと思い、これから私も少しでも自分が力になれることを見つけ、口で言うことは簡単だけれど、行動にしていきたいです。本日は、本当にありがとうございました！
- ・ 他の学校と違って世界に幅を広げた活動をしているのが印象的だった。学校の地域や地元には焦点を当てがちなこの発表で世界まで視線を広げた学習をしていくことは子供たちにとってこれからの人生において非常に重要な体験になると感じた。特に販売関係が多くあまり学生では体験できないことも多いので素晴らしい体験になったと感じた
- ・ フェアトレードチョコの販売、オリジナル竹バッグの制作など、具体的な取り組みを実現させていることが素晴らしいと思いました。問題解決のためには、実際に行動してみることが大切だと思いました。
- ・ 自分も中学校の際に、フェアトレードのお店を行っている人にお話を聞く機会があり、興味を持っていた。カカオを販売している生産者の問題を解決するためには、それらを買う消費者が正しい値段で購入することが重要であると思う。
- ・ 世界や地域の問題に対して、自分たちにできることを実際に行動に移している点がとてもよいと思いました。フェアトレードチョコレートの販売、オリジナル竹紙パックの取り組みなど、SDGsの視点をたくさん取り入れた活動が活発に行われていました。特に、文化祭でのSDGs展は他の生徒や地域の人々にも環境や社会問題について考えるきっかけを提供するととてもよい取り組みであると感じました。実際に社会に影響を与える活動を行っている点がとても印象的な発表でした。
- ・ 日本国内の森林問題などだけでなく、世界で今問題となっている児童労働や不当な貿易などに目を向けていることで、世界中で今様々な問題が起きていて、それを解決することで環境をよりよく維持することができることが伝わってきてよかった。
- ・ 放置竹林の問題を解決するために企業さんとコラボしてオリジナルデザインの袋を作る発想が素晴らしいと思います！文化祭での取り組みもとてもいいと思いました。
- ・ 放置竹林の問題を解決するために、竹で紙袋を作り、文化祭で使ってもらうことでプラスチックのレジ袋をなくすという動きを実際にしたのが素晴らしいと思いました。また、委員会から学校という規模でやるだけでなく、社会にまで規模を広げ、企業と手を組みながら環境のために活動している姿がとても印象的で、素敵だと感じました。
- ・ レジ袋の完全撤廃を実現したと聞いて、「すご！」と思わずさげんでしまいました。しかも、使用しているのが、適切に管理されていない放置竹林を使用しているのも環境について考えたうえでの行動だと思うので、そこも含めてすごいなと思いました。
- ・ バレンタインや文化祭など何かに関連付けて環境問題や社会問題に取り組んでいるということが良いと思いました。また、活動を生徒主体となってやり、企業との連携をはかったりするという行動にとっても感銘を受けました。
- ・ フェアトレードや放置竹林など様々な問題に目をつけて専門の方々と協力しながら課題解決のために活動し、社会貢献をしているのは素晴らしいと感じました。活動の中から新しい問題を見つけたり問題の理解を深めたりと学びが深められていて良いと思いました。これからも社会のためにこのような活動を続けていってほしいです。
- ・ 学校でのイベントでSDGsの達成に向けた活動を行っていて、とても良いと思った。学校の人だけでなく、地域の方々にも共有し、協力をしてもらうことを通じて、多くの人に活動を知ってもらえたのではないかと思います。

- ・ 再利用を実現するために活動をしていてSDGsの達成に向けて良いなと思いました。学校の文化祭で活動をすることで、生徒一人ひとりが問題点を理解できたり参加しやすかったりするので良いなと思いました。
- ・ SDGsが掲げる目標を自分たちで活動を通して、自分たちの理解を深めるとともに、世界の課題にも目を向けており、グローバル化を図っていてとても素晴らしい心構えだなと思いました。
- ・ フェアトレードチョコレートや放置竹林からオリジナル竹紙バック、活動を知ってもらうためのSDGs展など様々な活動を通して、問題への理解を深めたり、身近なことからできる解決方法を考えたりする姿に感銘を受けました。
- ・ SDGsをに関連した学習をされているところが、SDGsは現在話題となっていることも多いので興味が湧きました。また、レジ袋の完全撤廃が成功したのに関し、去年はうまくいかなかったこともあったとおっしゃっていて、一年だけでなく時間をかけて行われていたところに感動しました。
- ・ まず、普段食べているチョコレートからフェアトレードについて考えられる想像力が素敵だなと思いました。私たちが普段手に取る商品のその先を想像するというのをこれからも大切にしていってほしいです。文化祭でのSDGs展について、地域の方々に手を取っていただくきっかけとして「文化祭」を利用するというのはとても良い考えだなと思いました。
- ・ 社会問題に対して自分たちができることを主体的に考え、外部と連携しながら積極的な活動をしていることに興味をもちました。オリジナル竹紙バックや文化祭でのSDGs展など、外部企業との連携によってより幅広く活動を行い、人々にSDGsの気づきと自分たちの力が社会問題の解決に繋がるという気づきを促していることが魅力的でした。
- ・ フェアトレード食品の販売や、放置竹林の活用など身近なものからSDGsにつなげて意識を変えていくことをしているのは良いなと思いました。竹でできた紙製のエコバックのデザインがとてもかわいいと感じました。積極的に使用したくなるデザインにすることで「SDGsだから使う」ではなく「かわいいから使う」になるので、より広い人たちにSDGsを実践させることができるなと感じました。
- ・ 放置竹林の解決のためにオリジナル竹紙バックを製作する、という活動にはとても驚かされました。また、竹林問題の解決だけではなくレジ袋の問題も解決している点がとても素晴らしいと思いました。これからも活動を続けていくことを応援しています。
- ・ 着なくなった服の回収と、フリーマーケットはとても良い活動だと思い、私も参加したいと思いました。放置林の問題に関して、竹からできた紙のふくろを使うことで、文化祭の売店でのビニール袋の使用を完全に撤廃できたということに驚きました。
- ・ 発表を通して、使わなくなったものをただ捨てるのではなく、リユースをしたり他のものに活用したりすることの大切さを改めて感じました。わたしたちの行動が、世界がより良くなるために大きな影響を与えたいと思いました。
- ・ 自分たちが普段食べているチョコレートをきっかけに国際問題を考えることや、オリジナル竹紙バックを作ることで放置竹林問題の解決につなげるといった活動を実践することで製作者も消費者も問題の深刻さを学ぶことができると感じました。
- ・ チョコレートを売ったり、オリジナル竹紙バックを作ったり、フリーマーケットを行ったりすることで価値づけをしてより意識してもらえそうな活動にしているのがすごいと思いました。全校の力も借りながらすることによって意識を全校にも広げることができるなと思いました。
- ・ フェアトレードのチョコレート販売では解決策を呼びかけたりするだけではなく、実際に販売するという行動につなげていて素晴らしいと思った。販売することで、それを買った人が問題について考えるきっかけができると思うのでとても良いと思った。他の企業と連携して活動を行っていてすごいと思った。取り組みの成果も発表していてとても分かりやすい発表だった。
- ・ 冒頭で竹林放置問題に関して紹介する際に「信大附属学校の方でも…」という一言を入れていましたが、その一言で全体に発表を聞いていたということが伝わるため、全体に影響を与えとても素敵な一言だと感じました。活動に関しては、実際に文化祭でレジ袋の完全撤廃に成功するなど確かな実績を上げていて、さすがだと感じました。その他、SDGsに関する様々な活動に取り組み、外部の服のリユース活動に参加するだけでなく、学校でもフリーマーケットを開くなど、体験した活動を身近なところで応用できている点がとても素敵だと感じました。信大でも今年、学生たちにもう使用しない教科書や日用品を募り、来年の新入生を助けよう！といった趣旨の活動が近々行われるようです。大学生と同じ趣旨の活動を高校生のうちから、企画できる力は大きな強みです。今後の活動だけでなく、将来にも必ず繋がると感じます。今後の活動、応援しています。発表ありがとうございました。
- ・ 環境問題など、さまざまな問題解決に貢献できる取り組みが多くされていてすごいなと思いました。学校内だけではなく、学校外へもよい影響を与え、問題解決に貢献すると共に、地域の盛り上げにもなっているなと思います。
- ・ 環境のためにもなって、人々の生活にも役立つというより実践的な取り組みがすごいなと感じました。次の世代にもつなげていってほしいです。
- ・ 放置竹林に焦点を当てて、オリジナル竹紙バックを作り、その結果売店でのレジ袋の使用をゼロに抑えられたというのはとても実践的な活動で効果に表れているので素晴らしい活動だと感じました。また、チョコレートなどのフェアトレード商品は、コンビニやスーパーなどで身近に見られるものであり誰もが参加しやすい活動であると思うので、フェアトレード商品について理解を広めることは、環境問題や労働環境、貧困についての学びを深める上で効果的な方法だと思います。私自身も、環境を始めとした地球の抱える課題についてさらに学んでみようと思います。

- 日本だけではなく、世界に視点を向けて考えられてる点が良いと思った。私は長野西高校出身なのですが、毎年バレンタインになるもフェアトレードのチョコが販売されていて毎年とても人気です。フェアトレードの品が身近にあることで世界の問題も身近に感じることができる。

また、実際に自分が力になっていることがとても明確であり実感しやすいなと感じた。チョコレートだけじゃなくて他のフェアトレードの商品も購買で売るなどしていったらより知識が深まるのではないのかなと感じた。
- 再利用が進んでいてすごいなと思いました。個人だと活動をしにくいから、学校の文化祭で活動することで、生徒たちもSDGsや国内外の問題について現状を理解しやすいだろうし、気軽に参加しやすいだろうなと思った。去年の同じ活動を以前拝見したことがあったのだが、レジ袋について削減が進んでいてすごいなと思いました。
- フェアトレードは知識としては知っていても、個人的に実際買うかという現実的ではないので、高校の活動として行うことで身近なものになると思います。また、竹紙バックはとても可愛くて使いやすいそうだったので、高校の中だけでなく、地域のイベントなどでもぜひ販売してほしいです。これからもこの活動を続けていってほしいと思います。素晴らしい発表をありがとうございました。
- 自分たちの活動を一般の方々にも知ってもらうための活動やイベントや期間にちなんだ活動を行っていることが素敵だと思いました。活動の背景についての説明などが理解しやすくてとても良いと思います。ぜひSDGs展などを見たいです。
- 学校内だけではなく地域の企業と協力して活動することでより多くの人の意識を変えることに繋がると感じました。文化祭の売店で使われるレジ袋はかなり多いと思うので、自作の竹紙バッグでレジ袋完全撤廃に成功したことがすごいと思いました。
- 「世界や地域の問題に対して私たちができること」として多くの活動が展開されていてすごくいいなと思いました。実際にチョコを販売したり竹紙バックを作ったりフリーマーケットを行うことで、身近なことで世界で起きている問題を感じることが出来る素敵な活動だと思いました。また、この発表を聞いて私も自分が出来る世界で起きている問題に対する解決方法を見出していきたいと思いました。これからも様々な活動を通して全校のみんなに世界で起きている問題の解決について発信していきましょう！
- 土砂災害の解決に向けて、竹林問題から私たちが出来る環境問題への取り組みについて考えるきっかけとなりました。取り組みとして、私たちの生活になじみやすいものを作る、そこから理解を深めてい過程を知りさらに環境を大切にしようと思うことができました。
- バレンタインや文化祭など、身近なイベントごとからSDGsや国際問題、環境問題について考えていた姿が印象に残っていて、きっかけを身近なものにすることで、私たちは無理なくそして簡単に、行動を起こすことができると感じました。このように今起きている問題を、身近なテーマと関連付けることによって、私たちは問題を、他人事ではなく、自分事として捉えることができる、ということに気付かされました。
- 私も高校生の時に、学校内や学校外でフェアトレードを知ってもらうための活動を行っていたのですが、校内での商品販売は現実的の厳しく行うことができなかったので、皆さんの実行力の強さに驚きました。バレンタインや文化祭など、生徒が参加しやすいイベントを利用して活動している点が素晴らしいと思いました。
- 素敵な発表をありがとうございました。文化祭や、季節のイベントをきっかけに、SDGsやフェアトレードについて理解が深められるような探究をされていて素晴らしいと思いました。特に竹製のエコバッグなど、地域や学年を超えた取り組みは、継続的に続けてほしいと感じました。
- 長野西高等学校ユネスコスクール委員会の皆さんが取り組んだ世界や地域の問題に対してそれに向き合うという活動は、近年問題になっているSDGsが掲げている目標や地域をよりよくするという点で世界をよりよくする活動につながっている素晴らしい活動であると思いました。この活動で学んだことを無駄にせず、これからも地球にやさしく世界をよりよくしていくことを目指して生活していけたらいいですね。
- 全校生徒がSDGsや世界、地域の課題を理解し、行動に移すきっかけを提供するため、校内外で幅広い活動を展開し、2月にはバレンタインに合わせ、フェアトレードのチョコレートを販売し、カカオや砂糖の生産に関わる児童労働や不平等な貿易について考える機会を提供、6月・7月の文化祭では、放置竹林問題に着目し、地元企業と協力して竹紙バッグを制作、全校からデザインを募り、エコバッグとして活用することで、レジ袋の削減に成功したと聞いて行動からの実現がすごいと感じました。また、SDGs展を開催し、着なくなった衣服を回収して難民に届ける活動や、フリーマーケットを通じて再利用の重要性を啓発したことは自分たちの行動がSDGsに直結することを実感できたと思います。身近な行動が世界や地域の課題解決に繋がると強く感じだと思うので、これらの探究的な学びを主体的に考え、今後も積極的にSDGsに取り組み、持続可能な社会の実現に向けて一步一步前進してほしいです！！
- チョコレートや紙袋のような身近なもの、文化祭での活動から社会課題解決に対する意識を広めていく活動がとても素晴らしいと思いました!紙袋は竹を再利用しているだけでなく、文化祭以外の場面でもまた再利用できるおしゃれで使いやすいデザインになっていてとても素敵だなと思いました。
- 実際に社会的な問題に対して興味を持ったり調べたりするだけでなく、活動に移しているところが素晴らしいと思いました。放置竹林について問題があることは知っていたけれど、それを解決するために、竹でできた紙を使ったバックがあるというのは初めて知って、とても興味深いと思いました。また、いろいろな活動の内容がとても具体的かつ現実的なもので、よく考えられた活動だと思いました。

- ・ フェアトレードは自分が高校生の時にも触れた内容であった。一番有名なチョコは、私もスーパーなどで見かけたときに気にかけて購入したりと、知っているだけでも興味を持つかどうかの違いがあるため、情報発信は必要であると思った。竹を利用したものは、作成は大変そうではあるが、竹のバッグというものは私にとっても新鮮で、地域の人だけでなく全国的にも人々の興味を引くことのできる内容であると思った。
- ・ 発表すごくよかったよ！みんなの元気が伝わってきて、こっちまでワクワクしたよ。次の挑戦も楽しみにしてるね！

(教職員のみなさまへ)

- ・ 長野西高等学校ユネスコスクール委員会の活動は、SDGsや地域の課題について考える貴重な機会となりました。フェアトレードチョコレートの販売では、生産者と消費者のつながりを意識し、公正な取引の大切さを学び、オリジナル竹林バッグの作成では、放置竹林の問題に目を向け、今年度はレジ袋からの完全移行を達成している点が素晴らしいと感じました。文化祭のSDGs展では、不要な服を回収・再利用することで、リユースの重要性を実感しました。これらの活動を通じて、身近な行動が社会や環境に影響を与えることを学ぶとても良い機会になりました。
- ・ SDGsとの関連性を生徒が意識している点がよいと感じた。学習指導要領によると、「問題解決的な学習が発展的に繰り返されていく。これを探究と呼ぶ。」とある。ここから、各活動を行った生徒は、次にどのような発展的な問題解決的な学習を行いたいと願っているのか、生徒に聞いてみたいと感じた。フェアトレードチョコレートなら、このイベントを校内から地域に広げていくことや、その他のものの適正価格を考えていくことなど、様々な学習に発展するのではないか。さらに、このような探究学習では、教科とのつながりも大切になる。総合的な探究の時間で分からなかった問いについて、歴史探究や数理探究の時間でさらに考えることができるとよいのではないかと考えた。